

第 257 回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会の例会の議事録

部会長 村山元理

日時 2月22日(月) 18:00-20:00

場所 オンライン会議

動画の記録：非公開

参加者 古山、長塚、吉田、望月、井上、緒賀、村山 の7名

欠席届 新川(職務異動で多忙)

研究報告 緒賀正浩 「教育勅語を通してみる日本の思想の本質」

配布資料：

・緒賀正浩「ご譲位と教育勅語」『明日への選択』411号, 令和2年4月号, 日本政策研究センター, p.22-23.

・緒賀正浩「教育勅語を通してみる日本の思想の本質」(レジュメ)

<要旨> 教育勅語の文章を書いた井上毅、元田永孚らが熊本儒学の流れであること、江戸末期以来の儒教理想主義の立場が指摘された。なお井上毅[1844-1895]はドイツ憲法をもとに明治憲法の草案策定にも関わった。井上毅は明治国家の政治体制のグラウンド・デザインを作ったことが研究者より指摘されている。国体観は結果として水戸学の影響で、国体観こそが、教育勅語の最大のメッセージだと左翼と同じ見方ながら、右翼のような道徳普遍性の立場とは異なる見方をする。天皇が国民と対峙する側面の普遍性は、先の譲位発言のビデオメッセージを国民の80%が受容したことで歴史的な思想的連続性があることを指摘する。

教育勅語の背後にある思想的側面の複雑性について、その一端が報告された。

・その後、古山氏をはじめ全員から質疑応答があり、理解をさらに深めることができた。

参照 URL

[井上毅を知らなくては、日本近代史は語れない\(坂野 潤治\) | 現代新書 | 講談社 \(1/3\) \(ismedia.jp\)](#) 2019.5.8.

[「日本文明」研究フォーラム on Strikingly \(mystrikingly.com\)](#)

[井上 毅 | 福澤諭吉をめぐる人々 | 三田評論 ONLINE \(keio.ac.jp\)](#)

・こちらの書評コロキウムに参加が可能、緒賀さんの紹介の一言を入れて。

連絡事項

次回の3月例会で、4月に次年度の各自の研究目的について発表してもらい、年に一度は例会の報告をお願いする方向で決定。各自、A4で1枚以内の研究計画を報告してください。

毎回のレジュメなどをまとめて、年間の報告書をデジタルデータで作成の予定。

今後の予定（毎月第4月曜日）

令和3年の予定

3月22日（月）18：00－20：00 オンライン会議（事前にURLを送付）
各自がA4、1枚で研究計画の発表

4月26日（月）18：00－20：00 オンライン会議（事前にURLを送付）